# 平成27年度 財政状況資料集

## **総括表(市町村)**

							指定団体等	の指定状況		区分	平成27年度(千円		区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・9
都道府県名	愛	爰県	市町	村類型	ш-	- 1			歳入総額		51, 183, 10		実質収支比率		11.8	9.
							財政健全化等	×	歳出総額		47, 937, 77		経常収支比率		84. 6	86.
							財源超過	×	歳入歳出		3, 245, 32		(%1)		(91.3)	( 95.
市町村名	西	条市	地方交	付税種地	1-	3	首都	×		繰越すべき財源	32, 05	· ·	標準財政規模		27, 278, 895	27, 338, 15
							近畿	×	実質収支		3, 213, 26	2, 497, 301	財政力指数		0. 71	0. 7
	27年国調(人)	108, 174	1				中部	×	単年度収	支	715, 96		公債費負担比率		12.0	14.
人口	22年国調(人)	112, 091	_	産	業構造 (※5)		過疎	×	積立金		2, 006, 50	908, 092	健全化判断比率			
	増減率 (%)	-3.5					山振	0	繰上償還:			-	実質赤字比率		-	
	28. 01. 01 (人)	112, 230	Þ	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取		1, 856, 81				-	
	うち日本人(		筆	11次	4, 240	4, 956	指数表選定	0	実質単年	度収支	865, 64	-218, 932			9. 6	10
住民基本台帳人口		112, 959			8. 4	9. 2							将来負担比率		64. 2	62
(※7)	うち日本人(		筆	52次	16, 891	18, 805			基準財政		13, 672, 74		資金不足比率(※4)			
	增減率 (%)	-0. 6		,,,,,	33. 3	35. 0			基準財政	需要額	19, 743, 96					
	うち日本人(		笹	53次	29, 559	29, 676			標準税収	入額等	17, 465, 95					
面積(km²)		509. 98	**		58. 3	55. 2			経常経費	充当一般財源等	23, 767, 71	23, 932, 818	1			
人口密度(人/km²		212							歳入一般!	財源等	34, 789, 10	33, 005, 085				
世帯数(世帯)		44, 595														
			職員	の状況												
区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
E27	A.W.	給料月額(百円)	- 和登		27	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現	在高	49, 337, 92	46, 588, 665				
市区町村長	1	9, 130	職	一般職員	i	871	2, 626, 936	3, 016	うち公	的資金	37, 865, 70	35, 494, 234				
特 副市区町村長	2	7, 210	員	うち消	肖防職員	143	395, 824	2, 768	債務負担:	行為額(支出予定額)	210, 95	1, 051, 246				
別 教育長	1	6, 020	~	うちお	<b>支能労務職員</b>	60	166, 140	2, 769	収益事業	収入						
等議会議長	1	4, 560	*	教育公務	务員	18	63, 138	3, 508	土地開発	基金現在高	1, 548, 66	1, 548, 024				
議会副議長	1	3, 930	Ü	臨時職員	il .	-	_		-	財政調整基金	5, 110, 42	4, 960, 738				
議会議員	28	3, 660		合計		889	2, 690, 074	3, 026	積立金 現在高	減債基金	61, 13	61, 049				
			=	ラスパイレ	ス指数			94. 0		その他特定目的基金	3, 162, 25	3, 321, 245				
一般会計等の一覧		<b>*</b>	会計の一	_ Etr			公営企業(法適)	) の一覧	-	公営企業(法非適)の一	- EG	関係する一部事務	组合学_E	地士八分	第三セクター等一覧	-
項番	会計名	乎 来 項番			会計名		項番	, の一見 会計名			計名	項番 項番	組合等名	項番	第二セグター等一見 団体名	(%3)
(1) 一般会計		(6)	国民健康	<b></b> 便保険特別会	81		(10) 水道事業会計			(12) 簡易水道事業特別会計		(18) 愛媛県市町総合	事務組合 (消防補償事業分)	(23) 西条産	業情報支援センター	
(2) ひうち地域振興	·備事業特別会計	(7)	介護保険	<b>発特別会計</b> (	介護保険事業勘算	€)	(11) 病院事業会計			(13) 公共下水道事業特別会	<b>8</b> †	(19) 愛媛県市町総合	事務組合(交通災害事業分)	(24) 西条市(	体育協会	
(3) 土地開発事業特別	I 🛧 84	(8)	<b>小磁炉除</b>	₽#±₽   <b>△</b> 9↓ /	介護サービス事業	* th-c> \				(14) 小規模下水道事業特別:	<b>△</b> ₩	(20) 愛媛地方税滞納	<b>東女 I田 166 148</b>	(25) 西条市:	+ 納即終ハ카	
<ul><li>(4) 住宅新築資金等事</li></ul>				令者医療保険		K mi AL										
		(9)	俊期尚証	7. 在 医 意味 保 陕	特別去訂					(15) 港湾上屋事業特別会計			者医療広域連合(一般会計)	(26) 佐伯記:	<b>芯</b> 育央安	
(5) 畑地かん水事業特	別会計									(16) 小松地域交流事業特別:	会計	(22) 支援保護期尚書 特別会計)	者医療広域連合(後期高齢者医療			
										(17) 本谷温泉事業特別会計						

(注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。

※3: 連四不実出地が損失が損失が損失を行うしいる面は無人と、陸主に法の身出対象となうしいる団がについては、「地力が私・第三セグッー等」の団体石に口印を行うしている。
※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5: 産業構造の比率は、分田を就業人口総数とし、平成22年国期は分類不能の産業を管き、平成17年国期は分類不能の産業を含んでいる。
※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「総料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。
※7: 住民基本台帳人口については、住民基本合帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。

# (1) 普通会計の状況(市町村)

歳入0					地方税の				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過	課税分
地方税	15, 512, 406	30. 3	15, 512, 406	59.6	普通税	15, 506, 114	100.0		289, 374
地方譲与税	370, 674	0.7	370, 674	1.4	法定普通税	15, 506, 114	100.0		289, 374
利子割交付金	34, 616	0.1	34, 616	0. 1	市町村民税	6, 051, 916	39.0		289, 374
配当割交付金	69, 161	0.1	69, 161	0.3	個人均等割	175, 262	1.1		_
株式等譲渡所得割交付金	69, 589	0.1	69, 589	0.3	所得割	4, 133, 536	26. 6		-
地方消費税交付金	2, 041, 751	4. 0	2, 041, 751	7.8	法人均等割	294, 269	1.9		-
ゴルフ場利用税交付金	3, 110	0.0	3, 110	0.0	法人税割	1, 448, 849	9.3		289, 374
特別地方消費税交付金	_	_		_	固定資産税	8, 352, 507	53.8		
自動車取得税交付金	57, 731	0.1	57, 731	0. 2	うち純固定資産税	8, 329, 707	53. 7		-
軽油引取税交付金	_	_	_	_	軽自動車税	298, 011	1.9		-
地方特例交付金	58, 240	0.1	58, 240	0. 2	市町村たばこ税	803, 680	5. 2		_
地方交付税	8, 951, 667	17. 5	7, 729, 348	29. 7	鉱産税				_
普通交付税	7, 729, 348	15. 1	7, 729, 348	29. 7	特別土地保有税	_	_		_
特別交付税	1, 222, 319	2. 4	_		法定外普通税	_	_		_
震災復興特別交付税			_	_	目的税	6, 292	0.0		_
(一般財源計)	27, 168, 945	53. 1	25, 946, 626	99. 7	法定目的税	6, 292	0.0		_
交通安全対策特別交付金	16, 887	0.0	16, 887	0.1	入湯税	6, 292	0.0		_
分担金・負担金	534, 700	1.0	_	_	事業所税				_
使用料	683, 693	1. 3	33, 619	0.1	都市計画税	_	_		_
手数料	128, 724	0.3	-	-	水利地益税等	_	_		_
国庫支出金	6, 309, 131	12. 3	_	_	法定外目的税	_	_		_
ロインロー 国有提供交付金(特別区財調交付金)			_	_	旧法による税	_	_		_
都道府県支出金	3, 250, 832	6.4	_	_	合計	15, 512, 406	100.0		289, 374
財産収入	120, 061	0. 2	15, 398	0.1		10,012,100			200, 07.
寄附金	493, 844	1.0		-	区分	平成27年度		平成26	<b>在度</b>
繰入金	2, 158, 852	4. 2	_	_		98. 9	95. 7	98. 7	95. 2
繰越金	2, 752, 012	5. 4	_	_	徴収率 現 🚉   畫町廿尺形	99. 2	96. 3	98. 7	95. 3
諸収入	1, 064, 294	2. 1	8, 445	0.0	(%) 年 計 川町村民代 純固定資産税	98. 7	94. 9	98. 6	94. 8
地方債	6, 501, 125	12. 7	- 0, 110	- 0.0	一一一一一	00.7	V 1. V	00.0	01.0
うち減収補塡債(特例分)	- 5,001,120	/_	_	_	公営事業等への繰出	国民健康	事保除事業	会計の状況	<del></del>
うち臨時財政対策債	2, 083, 500	4. 1	_	_	合計 7,044,964		<b>ハバスナ</b> 不		185, 205
歳入合計	51, 183, 100	100.0	26, 020, 975	100.0	下水道				-822, 575
がた ハーロロ	01, 100, 100	100.0	20, 020, 970	100.0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		- 1	16 000

<b></b>
185, 205
-822, 575
16, 882
27, 666
86
125
346
ξ.

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

議会費 345, 399 0.7 7, 914, 831 16.5 817, 824 6, 民生費 16, 755, 588 35.0 78, 132 8, 衛生費 2, 605, 599 5.4 180, 962 2, 労働費 2, 40, 475 0.5 - 農林水産業費 2, 082, 627 4.3 1, 067, 090 1, 商工費 1, 260, 642 2.6 18, 459 1, 土木費 5, 260, 246 11.0 2, 889, 778 3, 消防費 2, 033, 082 4.2 818, 864 1, 教育費 5, 086, 339 10.6 1, 715, 660 3, 災害復旧費 43, 359 0.1 - 公債費 4, 309, 589 9.0 - 節年度繰上充用金	<b>设財源等</b>
議会費 345, 399 0.7 7, 914, 831 16.5 817, 824 6, 民生費 16, 755, 588 35.0 78, 132 8, 衛生費 2, 605, 599 5.4 180, 962 2, 79	加升泥在
総務費 7, 914, 831 16.5 817, 824 6. 民生費 16, 755, 588 35.0 78, 132 8. 衛生費 2, 605, 599 5.4 180, 962 2. 労働費 240, 475 0.5 180, 962 2. 農林水産業費 1, 260, 642 2.6 18, 459 1. 土木費 5, 260, 246 11.0 2, 889, 778 3, 1, 1067, 090 1. 清防費 2, 033, 082 4.2 818, 864 1. 教育費 5, 086, 339 10.6 1, 715, 660 3, 1, 715, 66	又別。你守
民生費     16,755,588     35.0     78,132     8, 625,599       労働費     2,605,599     5.4     180,962     2.       労働費     240,475     0.5     —     —       農林水産業費     2,082,627     4.3     1,067,090     1,8459       土木費     5,260,246     11.0     2,889,778     3,       消防費     2,033,082     4.2     818,864     1,715,660       教育費     5,086,339     10.6     1,715,660     3,       災害復旧費     43,359     0.1     —     —       公債費     4,309,589     9.0     —     4,       諸支出金     —     —     —     4,       前年度繰上充用金     47,937,776     100.0     7,586,769     31,	345, 399
民生費 衛生費     16,755,588 2,605,599     35.0 5.4 180,962     78,132 2,205,599     8, 180,962       労働費 労働費     240,475 2,082,627     4.3 4.3     1,067,090 1,067,090     1, 1,067,090       商工費 1,260,642     2.6 5,260,246     11.0 2,889,778     3, 3, 2889,778     3, 3, 42       消防費 9,06     2,033,082 4,2 818,864     1, 7,15,660     3, 3, 3, 26† 4,309,589     10.6 9,0     1,715,660     3, 4, 20, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 4,309,589     3, 9,0     - 4, 20, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3,	028, 613
衛生費 2,605,599 5.4 180,962 2, 労働費 240,475 0.5	718, 818
労働費 240, 475 0.5	396, 290
農林水産業費 2、082、627 4、3 1、067、090 1、	
商工費 1,260,642 2.6 18,459 1.4 2 18,459 1.6 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,778 3, 2,889,78 3,	13, 181
土木養 河防費     5, 260, 246     11. 0     2, 889, 778     3, 788       河防費     2, 033, 082     4. 2     818, 864     1, 864       教育費     5, 986, 339     10. 6     1, 715, 660     3, 758       災害復旧費     43, 359     0, 1     -     -       公債費     4, 309, 589     9. 0     -     4, 878       諸支出金     -     -     -     -       前年度繰上充用金     47, 937, 776     100. 0     7, 586, 769     31,	041, 645
消防費 2,033,082 4.2 818,864 1, 教育費 5,086,339 10.6 1,715,660 3, 災害復旧費 43,359 0.1 4, 公債費 4,309,589 9.0 - 4, 諸支出金 前年度繰上充用金 47,937,776 100.0 7,586,769 31,	810, 854
消防費 2,033,082 4.2 818,864 1, 教育費 5,086,339 10.6 1,715,660 3, 災害復旧費 43,359 0.1 4, 公債費 4,309,589 9.0 - 4, 諸支出金 前年度繰上充用金 47,937,776 100.0 7,586,769 31,	274, 057
教育費     5,086,339     10.6     1,715,660     3,       災害復旧費     43,359     0.1     -       公債費     4,309,589     9.0     -     4,       諸支出金     -     -     -     -       前年度繰上充用金     47,937,776     100.0     7,586,769     31,	271, 581
災害復旧費     43,359     0.1     -       公債費     4,309,589     9.0     -       請支出金     -     -     -       前年度繰上充用金     47,937,776     100.0     7,586,769       31,	437. 700
公債費     4,309,589     9.0     -     4,809,589       請支出金     -     -     -       前年度繰上充用金     47,937,776     100.0     7,586,769     31,000	
諸支出金 前年度繰上充用金 歳出合計 47,937,776 100.0 7,586,769 31,	16, 211
前年度繰上充用金 47,937,776 100.0 7,586,769 31,	189, 430
前年度繰上充用金 47,937,776 100.0 7,586,769 31,	_
歳出合計 47,937,776 100.0 7,586,769 31,	_
	543, 779
性質則達出の状況(第位 壬甲・04)	040, 119
	la + 11. +
	収支比率
義務的経費計 21,889,173 45.7 14,449,760 14,345,102	51.0
人件費 7,656,179 16.0 7,222,503 7,127,659	25. 4
うち職員給 4,638,169 9.7 4,349,276 -	_
扶助費 9.923.405 20.7 3.037.827 3.028.013	10.8
公債費 4,309,589 9.0 4,189,430 4,189,430	14. 9
元利償還金 4,309,537 9.0 4,189,378 4,189,378	14. 9
内 うち元金 3,751,865 7.8 3,653,391 3,653,391	13. 0
訳   うち利子   557,672   1.2   535,987   535,987	1. 9
一時借入金利子	0.0
その他の経費 18,418,475 38.4 14,797,235 9,422,612	33. 5
物件費 5,306,069 11.1 4,605,943 4,131,918	14. 7
維持補修費 528.904 1.1 429.113 415.131	1. 5
補助費等 2, 273, 019 4. 7 1, 792, 486 942, 350	3. 4
うち一部事務組合負担金   52,850   0.1   52,850   52,850	0. 2
繰出金 6,729,333 14.0 5,925,724 3,894,791	13. 9
精立金 2,076,794 4,3 2,000,000 -	_
投資・出資金・貸付金 1,504,356 3.1 43,969 38,422	0.1
前年度繰上充用金	
投資的経費計 7,630,128 15.9 2,296,784	
うち人件費 323, 101 0.7 322, 478	
普通建設事業費 7,586,769 15.8 2,280,573	
ー うち補助 3,011,252 6.3 279,434	
7   うち畄独	
歌   災害復旧事業費	
失業対策事業費	
蔵出合計 47,937,776 100.0 31,543,779	

# (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

放五川 中切别或仍然(丰位:自2711)								
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	50,910	47,683	3,227	3,195	1,992	48,942		l
2 ひうち地域振興整備事業特別会計	244	244	-	-	94	395		l
3 土地開発事業特別会計	1	1	-	-	-	-		l
4 住宅新築資金等貸付事業特別会計	7	1	6	6	-	1		l
5 畑地かん水事業特別会計	22	9	13	13	-	-		l
6								l
7								l
8								١
9								١
10								l
11								١
12								l
13								١
14								
15								
16								l
計 一般会計等(純計)	51,166	47,921	3,245	3,213		49,338		Ī

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	15,800	15,615	185	185	1,857	-	-	-	
2 介護保険特別会計(介護保険事業勘定)	10,413	10,201	212	212	1,457	-	-	-	
3 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	160	70	91	91	-	-	-	-	
4 後期高齢者医療保険特別会計	1,360	1,333	27	27	432	-	-	-	
5 水道事業会計	854	838	16	1,439	53	6,542	824	-	法適用企業
6 病院事業会計	168	203	35	14	262	1,459	1,427	-	法適用企業
7 簡易水道事業特別会計	109	109	-	-	42	583	382	-	法非適用企業
8 公共下水道事業特別会計	3,387	3,383	4	-	1,468	21,690	16,593	-	法非適用企業
9 小規模下水道事業特別会計	47	47	-	-	46	39	30	-	法非適用企業
10 港湾上屋事業特別会計	6	6	0	0	-	-	-	-	法非適用企業
11 小松地域交流事業特別会計	147	147	-	-	78	-	-	-	法非適用企業
12 本谷温泉事業特別会計	24	24	-	-	23	-	-	-	法非適用企業
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,968		30,313	19,256		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	愛媛県市町総合事務組合(消防補償事業分)	570	566	4	4	-	-	-	
2	愛媛県市町総合事務組合(交通災害事業分)	58	47	11	11	-	-	-	
3	愛媛地方税滞納整理機構	187	98	90	90	-	-	-	
4	愛媛県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	187	181	7	7	-	-	-	
5	愛媛県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	208,312	200,160	8,152	8,152	212	-	-	
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
ŝ†	一部事務組合等				8,264		-	-	

(単年度)

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 10.7

10.3

10.9

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産 平成27年度

当該団体から の債務保証に 係る債務残高 当該団体から の損失補償に 係る債務残高 係る債務残高 負担見込額

1				出資金	補助金	貸付金	の債務保証に係る債務残高			
0.1	西条産業情報支援センター	2	20	10 25		-	-	_	-	
3	西条市体育協会 西条市土地開発公社	<b>▲</b> 1	88 106	25 5	1 -	23	-	-	12	
4	佐伯記念育英会	2	280	250	_	-	_	_	-	
5	The Indiana Page 1	_								
6										
7										
3										
Э										
0										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
1										
12										
:3										
4										
:5										
:6										
7										
9										
19										
1										
2										
3										
4										
15										
17										
+										
18										
10										
1										
2										
13										
4										
15										
7										
18										
19										
10										
1										
i2										
3										
5										
6										
7										
i8										
9										
10										
1										
2										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
1										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
'9										
0										
11										
2	方公社・第三セクター等			290	1	23	_		12	
_				290		23			12	

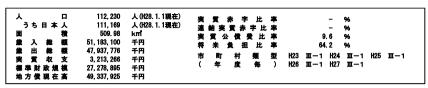
公	債費負担の状況					将来負担 <i>0</i>	大況												
	実質公債費比率 (千	円・%)										4	将来負担比率	¥ (Ŧ	千円・%)				
	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比		区	分	平成	<b>戈25年度</b>	平成26年度	平成27年度	分母比		内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比
元	利償還金	4,739,150	4,748,596	4,309,537	18.2	将来負担額	見一般会計等に係	系る地方債の現在高	44,	911,710	46,588,666	49,337,925	208.9	F	PFI事業に係るもの	-	-	-	
減	債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為	こ基づく支出予定額		37,500	30,000	22,500	0.1	t	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	
25	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等網	繰入見込額	20,	672,486	20,079,401	19,256,670	81.5		国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	
7	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,508,498	1,523,040	1,341,189	5.7		組合等負担等身	見込額		-	-	-	-	債	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
木付	利 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-		退職手当負担	見込額	7,	741,375	7,185,146	7,069,230	29.9	負	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
i	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	9,798	9,402	9,184	0.0		設立法人等の負	負債額等負担見込額		57	-	12,023	0.1	担任	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	
4	一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字額	額		-	-	-	-	行	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	37,500	30,000	22,500	0
	合計 (A)	6,257,446	6,281,038	5,659,910			組合等連結実質	質赤字額負担見込額		-	-	-	-	- 1	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
	内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比		合計		(E) 73,	,363,128	73,883,213	75,698,348		1	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金		10,	432,602	9,510,524	9,545,650	40.4	.  -	その他上記に準ずるもの	-	-	-	
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定点	歳入	1,	151,068	1,039,683	936,357	4.0	)	公共下水道事業特別会計	17,058,490	16,873,026	16,593,178	70
信	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額	額算入見込額	46,	826,993	48,639,726	50,039,476	211.9		病院事業会計	1,871,846	1,573,541	1,427,357	6
矛	第 地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計		(F) 58,	410,663	59,189,933	60,521,483			债等 見込額 水道事業会計	1,203,347	1,159,176	824,310	3
1	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	9,618	9,402	9,184	0.0	将来負担比	:率((E)-(F))/(	((C)-(D)) × 100		62.7	62.1	64.2		林八分	簡易水道事業特別会計	442,208	417,853	381,874	1
ŕ	量 損失補償・債務保証の履行に係るもの	180	-	-	-				· ·					1	その他の会計	96,595	55,805	29,951	0
Ž	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-										地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	優	皇全化判断比率	平成27年度 早	早期健全化基	準 財政	<b>攻再生基準</b>				社・ 2ク等 土地開発公社に係る将来負担額	-	-	12,023	0
	利子補給に係るもの	-	-	-	-	実質	質赤字比率	-	11.	.94	20.00				その他第三セクター等に係る将来負担額	57	-	-	
特	定財源の額(8)	161,132	136,603	120,159		連綿	结実質赤字比率	-	16.	.94	30.00				•				
標	準財政規模 (C)	27,355,047	27,338,151	27,278,895		実質	質公債費比率	9.6	2	5.0	35.0								
算	入公債費等の額 (D)	3,538,224	3,709,646	3,658,754		将3	来負担比率	64.2	350	0.0									
ı	(C)-(D)	23,816,823	23,628,505	23,620,141		l '-													
Ξ	(単年度)	10.7	10.3	8.0		1													

## (3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

## 平成27年度

## 愛媛県西条市

**爱媛県**平均



● 当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の ■ 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う

- ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
- ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
- ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



籍似闭体内槽位 多提展平均 14/29 0.43

市税収入の減収等により、対前年比で0.01ポイント下回っており、類似団 体平均と比較した場合も0.01ポイント下回る。引き続き企業誘致や産業振 興策を通じた市税収入等自主財源の確保に努め、財政基盤の強化を図



85.0 95.0 100.0 105.0

H25

人件費・物件費等の状況

H26

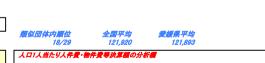
H23

H24

財政構造の弾力性

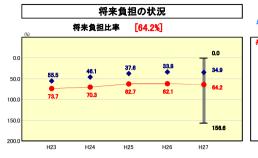
経常収支比率 [84.6%]

扶助費が増加したものの人件費等が減少し、また臨時財政対策債など 経常的な一般財源が増加したため、前年度比率と比較すると2.3ポイント 改善しており、全国、県内市町及び類似団体平均値よりも良い状況であ る。今後も市税などの一般財源の確保や経常経費の圧縮を図り、財政構 造の改善に努める。



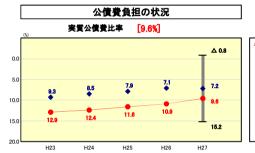
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 「116.096円] 83,378 80.000 100,000 108.563 109,215 114,225 120,000 140 000 160,000 172 578 180.00 200.000 H23 H24 H26 H27

人件費については減少したものの、社会保障・税番号制度システム整備 事業等により物件費が増加したため、前年度と比較すると730円の増と なった。物件費は、全国、県内市町平均を下回るものの、人口当たりの職 員数が多いことから人件費が類似団体平均を上回っており、今後とも人件 費の削減や施設の維持管理にかかるコストの低減に努めていく。



類似团体内層位 22/29

基準財政需要額算入見込額が増加したものの、地方債残高が増加した ため、前年度と比較する2.1ポイント悪化した。全国、県内市町、類似団体 平均のいずれをも上回ることから、起債事業の厳選と残高の削減を図る必 要がある.



籍似闭体内槽位 全国平均 多提展平均 21/29

#### 実置公信曹比率の分析権

地方債元利償還金の減少等により、昨年度より1.3ポイント改善している が、全国、県内市町及び類似団体平均を上回る状況にあるため、起債の 厳選・抑制を図り、起債を行う場合も交付税措置のある起債を活用する 等、財政の健全化に努める。

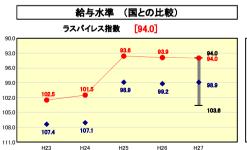


類似団体内順位

### 人口千人当たり職員数の分析権

市町村合併に伴い旧市町に総合支所を設置し、地域の拠点としてその 機能を維持していることから、類似団体平均を上回っている。

指定管理者制度の導入や民間委譲、業務の委託化等に取り組んできた ところであるが、今後とも西条市の現状や地域特性を考慮しながら、組織 機構、職員配置の再編・見直しを進め、簡素で効率的な執行体制の実現と 適切な定員管理に努める。



類似団体内順位

#### ラスパイレス指数の分析機

給与の適正管理により、類似団体の中では最低水準にあるため、引き続 き適正管理に努める。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

愛媛県西条市

爱媛県平均

**参梯周亚约** 

**爱姆**娜平均

14.4

## 経常収支比率の分析



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 人件書 16.0 18.0 20.0 22.1 22.0 24 0 26.0 26.2 26.5 28.0 27.2 30.0 H23 H24 H25 H26 H27

# 類似团体内順位

人件費の減少により昨年度と比較して0.8ポイント改善している が、全国、県内市町及び類似団体平均を上回っており、今後も事 務事業の見直しや指定管理者制度の導入、執務体制の効率化 等により、適切な定員管理に努め、引き続き人件費関係経費全 体について抑制していく必要がある。

全国平均

23.3

**受提展平均** 

**受提展**平均

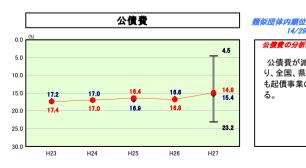
22.3

#### 扶助費 6.0 8.0 9.0 10.8 12.0 12.8 15.0 18.0 21.0 20.4 24.0 H23 H24 H25 H26 H27

## 類似団体内順位 扶助着の分析欄

昨年度と比較して同じポイントとなている。県内市町平均と同水 準、全国及び類似団体平均よりは良い状態にあるため、今後も 事業効果やサービス水準を検討し、適正化に努める。

全国平均



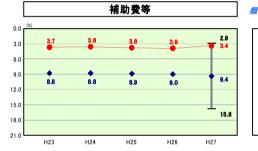
### 公信誉の分析権

公債費が減額したことにより昨年度から1.9ポイント改善してお り、全国、県内市町、類似団体平均よりも良い状態である。今後 も起債事業の厳選、発行額の抑制等により公債費の削減に努め

全国平均

17.4





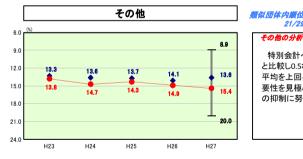
### 13/29 毎任夢の分析量

予防事業費等に充当した一般財源の増加により、前年度と比較 すると0.4ポイント悪化している。類似団体の平均よりはよいもの の、全国、県内市町平均よりは状況が悪化しているため、指定管 理者制度等民間委託化を推進し、業務の効率化、コスト削減に 努める。

全国平均



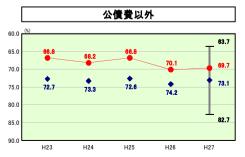
### 平成27年度から市税の前納報奨金制度を廃止したことに伴 い、昨年度と比較して0.5ポイント改善しており、全国、県内市町 及び類似団体平均よりもかなり低く推移している。引き続き、事 業の必要性を精査し、事業の廃止、縮小、統合や補助率の見直 し等、効率的な運用に努める。



#### その他の分析機

特別会計への繰出金等に充当した一般財源が増加し、昨年度 と比較し0.5ポイント悪化しており、全国、県内市町及び類似団体 平均を上回る状態である。繰出金の抑制や、事業の緊急性や重 要性を見極めたうえで選択的、計画的に事業を実施し、事業費 の抑制に努めていく。

全国平均



類似用体内槽份

昨年度と比較し0.4ポイント改善し、類似団体、全国市町村平 均を下回っている。しかし県内市町平均を上回っており、今後も 各事業の経費について精査を行い削減に努めていく。

全国平均

## 公債費以外の分析機

類似団体内の

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

#### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 120,000 類似団体内の 105.150 最大値及び最小値 100,000 80,000 70,951 67,113 60,000 65,933 65,157 63.814 54,379 40,000 20.000 H24 H25 H26 H27

# 人件費及び人件費に準ずる費用

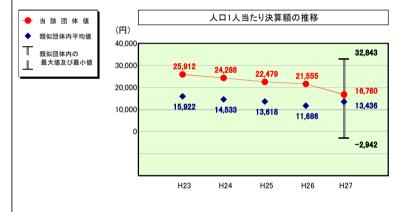
	当該団体决算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	7, 656, 179	68, 219	59, 425	14. 8
賃金(物件費)	506, 850	4, 516	4, 056	11. 3
一部事務組合負担金(補助費等)	8, 153	73	4, 833	▲ 98.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	359	=
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	253, 403			<b>▲</b> 9.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	323, 101	2, 879	1, 661	73. 3
▲退職金	<b>▲</b> 784, 843	<b>▲</b> 6, 993	<b>▲</b> 5, 705	22. 6
合計	7, 962, 843	70, 951	67, 113	5. 7

#### <u>参考</u>

	当該団体	類似団体半均 :	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7. 92	6. 44	1. 48
ラスパイレス指数	94. 0	98. 9	<b>▲</b> 4.9

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

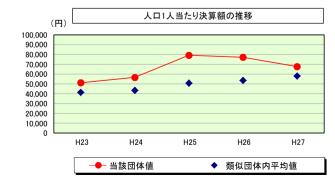


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	4, 309, 537	38, 399	38, 730	▲ 0.9
(繰上償還額等を除く) 精立不足額を考慮して算定した額	,,,,,,,,	,	,	
<u> 関立小足銀ど考慮して昇足した銀</u>  満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの	_	_	-	
	-	-	20	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1, 341, 189	11, 950	9, 869	21. 1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1, 414	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	9, 184	82	1, 206	▲ 93.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	=	1	=
▲特定財源の額	<b>▲</b> 120, 159	<b>▲</b> 1,071	<b>▲</b> 5, 887	▲ 81.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>▲</b> 3, 658, 754	▲ 32,600	▲ 31,918	2. 1
合計	1, 880, 997	16, 760	13, 436	24. 7

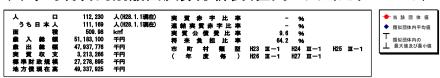
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

		当該団体決算額	人口1人当たり決算額					
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)	
H23		5, 842, 460	51, 231	16. 7	41, 433	<b>▲</b> 19.2	35. 9	
	うち単独分	1, 866, 192	16, 364	<b>▲</b> 12. 9	22, 351	<b>▲</b> 23. 1	10. 2	
H24		6, 466, 301	56, 629	10. 5		5. 0	5. 5	
	うち単独分	3, 210, 320	28, 115	71. 8	23, 254	4. 0	67. 8	
H25		9, 015, 634	79, 223	39. 9	50, 840	16. 9	23. 0	
	うち単独分	3, 048, 500	26, 788	<b>▲</b> 4.7	25, 367	9. 1	<b>▲</b> 13.8	
H26		8, 715, 316	77, 155	<b>▲</b> 2.6	53, 605	5. 4	▲ 8.0	
	うち単独分	3, 393, 341	30, 040	12. 1	28, 343	11. 7	0. 4	
H27		7, 586, 769	67, 600	<b>▲</b> 12. 4	58, 051	8. 3	<b>▲</b> 20. 7	
	うち単独分	3, 430, 545	30, 567	1. 8	32, 143	13. 4	<b>▲</b> 11.6	
過去5年間平均		7, 525, 296	66, 368	10. 4	49, 484	3. 3	7. 1	
	うち単独分	2, 989, 780	26, 375	13. 6	26, 292	3. 0	10. 6	

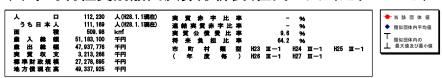


- ※ 市町村籍型とは、人口および産業権浩等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 目的別農出の分析機

総務費は住民一人当たり70,523円となっており、平成26年度から17,823円の増となっているが、これは財政調整基金への積立額が約10億9,800万円の増額となったことや、地域総合整備資金貸付事業として8億8,200万円の貸付を新たに行ったことなどによるものである。また、教育費が住民一人当たり45,321円となっており、平成26年度から増加傾向にある。これは小中学校校舎等耐震改修事業や小学校ICT教育推進事業、国民体育大会開催に向けた体育施設の改修等に積極的に取り組んだことによるものである。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析機

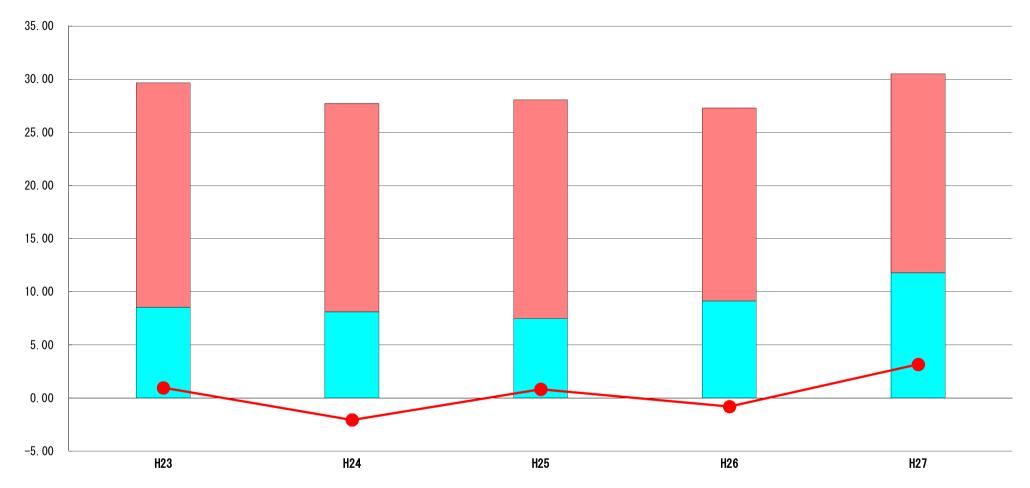
歳出決算総額は、住民一人当たり427,139円となっている。主な構成項目である扶助費は、住民一人当たり88,420円となっており、平成26年度から1,260円の増となっているが、これは私立保育所児童運営事業費等の増によるものであるが 類似団体では16,761円の大幅な増となっている。また、貸付金は住民一人当たり13,062円となっており、平成26年度から7,964円の増となっているが、これは地域総合整備資金貸付事業として8億8,200万円の貸付を新たに行ったことなどによるものである。 また、貸付金は住民一人当たり13,062円となっており、平成26年度から7,964円の増となっているが、これは地域総合整備資金貸付事業として8億8,200万円の貸付を新たに行ったことなどによるものである。 今後も費用対効果を十分考慮した事業執行を行い、健全な財政状況の維持に努める。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成27年度

愛媛県西条市

## 標準財政規模比(%)



## 標準財政規模比(%)

区分 年度	H23	H24	H25	H26	H27
財政調整基金残高	21. 11	19. 57	20. 59	18. 15	18. 73
実質収支額	8. 55	8. 12	7. 47	9. 13	11. 78
実質単年度収支	0. 96	▲ 2.06	0. 82	▲ 0.80	3. 17

## 分析欄

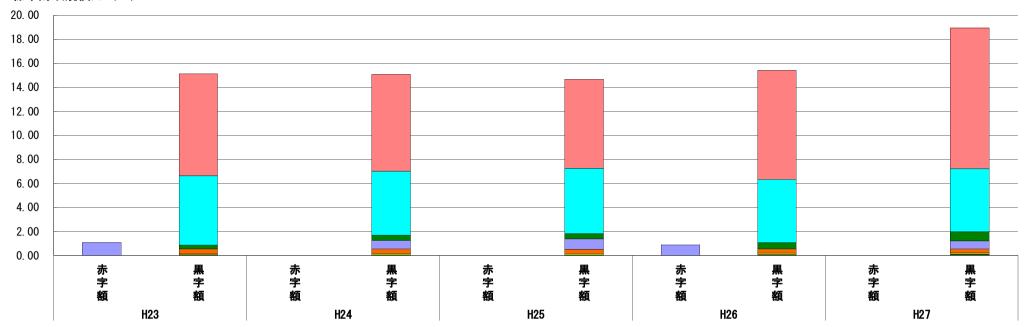
前年度赤字決算となった実質単年度収支が黒字転換し、実質収 支についても引き続き黒字である。実質収支比率は、11.78%であり、望ましいとされる3~5%を上回る状況となっている。

今後は、市税収入の大幅な伸びも期待できないことから、財政調整基金の減少も考えられ、慎重な取崩しとさらなる基金の積立てに 留意する必要がある。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村) 標準財政規模比(%)

平成27年度

愛媛県西条市



J== 2#		. 40 4#	11.	/ ~ / \
T= 7F	87 IM7	TH TH	-	(%)
1 <del>= 1=</del>	HAI IEX	<b>АП. ТЪ</b>	ш.	(70)

会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
	一般会計	8. 50	8. 07	7. 42	9. 08	11. 71
	水道事業会計	5. 78	5. 34	5. 45	5. 26	5. 27
	介護保険特別会計(介護保険事業勘定)	0. 32	0. 42	0. 42	0. 54	0. 77
	国民健康保険特別会計	▲ 1.06	0. 72	0. 87	▲ 0.86	0. 67
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	0. 40	0. 38	0. 36	0. 34	0. 33
	後期高齢者医療保険特別会計	0. 08	0. 10	0. 10	0. 10	0. 09
	病院事業会計	0. 00	0. 00	0. 00	0. 04	0. 04
	畑地かん水事業特別会計	0. 04	0. 04	0. 04	0. 04	0. 04
	その他会計 (赤字)	-	-	-	-	_
	その他会計(黒字)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 02

## 分析欄

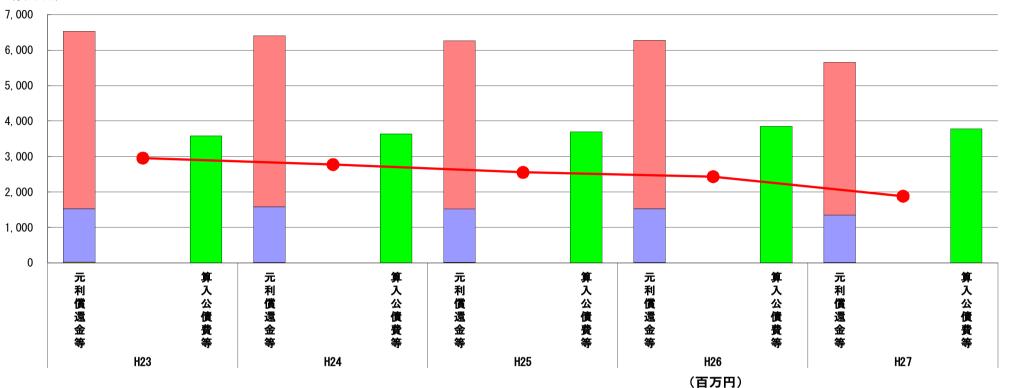
前年度赤字決算となった国民健康保険特別会計が黒字転換し、全会 計において黒字決算となっている。今後とも、健全で安定した財政運営 に努める。

# (9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成27年度

愛媛県西条市

# (百万円)



						(H73137
分子の構造	年度	H23	H24	H25	H26	H27
	元利償還金	5, 008	4, 827	4, 739	4, 749	4, 310
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	_
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	_	_	-	_
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1, 506	1, 568	1, 508	1, 523	1, 341
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	_	_	-	_
	債務負担行為に基づく支出額	21	10	10	9	9
	一時借入金の利子	_	_	_	-	_
算入公債費等(B)	算入公債費等	3, 580	3, 632	3, 700	3, 847	3, 779
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	2, 955	2, 773	2, 557	2, 434	1, 881

## 分析欄

改善要素である算入公債費等が減少しているものの、それ以上に悪化要素である元利償還金等が減少しているため、実質公債費比率の分子額、実質公債費比率ともに改善している。今後も後年度交付税措置のある起債を厳選して活用するとともに、起債の抑制に努める。

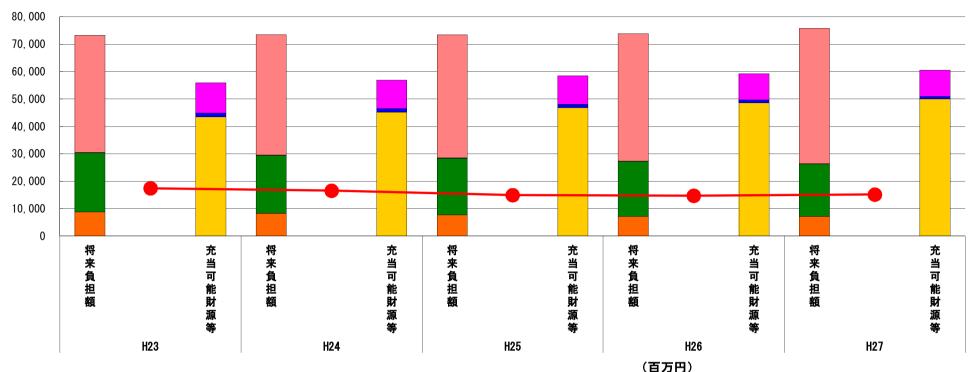
<sup>※</sup>平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成27年度

愛媛県西条市

(百万円)



						(11/31/1/
分子の構造	年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	42, 847	43, 908	44, 912	46, 589	49, 338
	債務負担行為に基づく支出予定額	59	45	38	30	23
	公営企業債等繰入見込額	21, 613	21, 134	20, 672	20, 079	19, 257
	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額	8, 780	8, 347	7, 741	7, 185	7, 069
	設立法人等の負債額等負担見込額	0	0	0	-	12
	連結実質赤字額	-	-	_	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	_	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	10, 976	10, 402	10, 433	9, 511	9, 546
	充当可能特定歳入	1, 439	1, 285	1, 151	1, 040	936
	基準財政需要額算入見込額	43, 425	45, 211	46, 827	48, 640	50, 039
(A) — (B)	将来負担比率の分子	17, 460	16, 537	14, 952	14, 693	15, 177

# 分析欄

建設事業実施による合併特例債や、地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の借入により地方債残高が増加している。臨時財政対策債は、改善要素である基準財政需要算入見込額に全額算入されるものの、合併特例債の算入率は70%であり、多額の借入は将来負担比率の悪化要因となるため、注意する必要がある。また、退職手当負担等見込額は、職員の新陳代謝等により減少している。

今後もひうちクリーンセンター整備事業等の大型事業により地方債現在高の増嵩が見込まれることから、比率に留意し、起債の抑制を図っていく必要がある。

<sup>※</sup>平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。